

会議録

1. 附属機関の名称

犬山市健康まちづくり推進委員会

2. 開催日時

令和7年2月21日（金）午後2時から午後3時30分まで

3. 開催場

市民健康館さら・さくら 交流ホール

4. 出席者

（1）委 員

宮田昭男、古川大祐、桑原生秀、宮崎貢一、榊原吉峰、竹腰篤、杉浦隆、江畑容子、
紀藤秀夫、布目訓久、田口庸子、小林光子、澤野光子、宮地巨樹、勝又美樹、岡村千里、
光清毅

（2）事務局

健康推進課（水野嘉彦課長、武内道広課長補佐、古田裕三課長補佐、野村潤子統括主査、
河村佐久良統括主査、松本聡子主任主査、中根久美主任主査）

5. 議題

（協議事項）

「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21」の策定について

6. 傍聴人の数

0人

7. 内容

課長	皆さまこんにちは。お疲れのところお越しいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、令和 6 年度第 3 回犬山市健康まちづくり推進委員会を開会いたします。 本日は、委員会の開催に当たり、ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。私は、健康推進課長の水野と申します。議事に入るまでの進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、会議録の公表について申し上げます。 この「健康まちづくり推進委員会」は附属機関の会議でありまして、「犬山市附属機関の会議の公開に関する要綱第5条第3項」により会議録等を公表することとなっております。 そのため、同要綱第5条第2項により会議録に署名が必要となります。この後、会長から2名の委員を指名していただきますので、指名された委員は後日ご協力をお願いいたします。 議事に入ります前に、ここで本日の出席者につきまして、ご報告申し上げます。 本日も都合により、1号委員の近藤委員、4号委員の奥村委員よりご欠席との連絡をいただいております。また、渡辺会長におかれましては、本日も出席の予定でしたが、どうしても出席できないご事情ができ、ご欠席となりましたので、ご報告させていただきます。 本日、委員 20 名のうち【17】名の委員にご出席いただいておりますので、当委員会の規則第4条第3項の規定に基づき、本日の委員会は成立となります。 次に、配付資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料は、事前に郵送させていただいておりますが、 ①本日の次第 ②「犬山市健康まちづくり推進委員会規則」 ③「犬山市健康まちづくり推進委員会委員名簿」 ④「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21(最終案)」(資料1) ⑤「パブリックコメントの実施結果と計画書の変更点」(資料 1-1) ⑥「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21(概要版)」(資料2) ⑦「第3次計画の今後の取組みについて」(資料3) 不足等ございましたらお申し出ください。 それでは議事に入ります前に、副会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。 宮田副会長、よろしくお願いいたします。
副会長	皆さま、こんにちは。今、事務局からお話がありましたように、渡辺会長はやむを得ない所用、御用により急遽欠席ということでございますので、副会長であります私が議長を務めさせていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。 昨年度より、いぬやま健康プラン 21 の策定について、委員の皆さま方には慎重なご

	審議をいただき、本日、第 3 次計画の完成の報告に至りました。この第 3 次最終案について、一言触れ、あいさつに代えさせていただきたいと思います。 健康プラン 21 は、すべての市民の健康を支え、守り、増進するための取組として 2003 年にスタートしております。スタート時点に比較しますと、かなり私は進化してきているのではないかと考えております。第 2 次計画では、健康を個人の問題としてだけではなく、社会全体の問題として捉えており、健康診査、あるいは食生活、運動、子どもの健康、フレイルなど、多岐にわたってテーマを取り上げてきております。 当委員会や関係機関が一丸となって取組を進めた結果、これまでに多くの具体的な成果が得られております。しかし、目標に達成せず、改善が必要な部分もございます。まだまだ多くの課題が残されていることも事実であります。 子どもの心の問題、女性の健康づくりなど、ライフステージに応じた、より実効性を持つ新たな取組が求められております。 国の第 3 次健康日本 21 に、居心地がよく歩きたくなるまちづくりに取り組むという新たな目標がございます。ウォーカブル政策と言います。犬山は、美しい自然と歴史的な景観に恵まれており、歩きたくなる、出かけたくなるまちにすることができるポテンシャルを秘めております。 健康に対する関心の薄い人を含め、誰 1 人取り残さないで、歩くことにより、無理なく健康づくりにつながるのではと考えております。そのためには、住民が運動しやすいまちの環境整備の充実が急務でございます。 市民の誰もがより長く健やかに生活できるには、健康は最重要要素であります。 この委員会は、保健、医療、福祉、教育分野、あるいはそれに関連する機関の専門家の集まりであります。それぞれにお知恵を出していただき、市民の皆さまが犬山で暮らしてよかったと得心のいく健康犬山づくりに引き続き取り組んで参りたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。 以上であいさつに代えさせていただきます。
課長	ありがとうございました。今後の議事進行につきましては、規則第 4 条第 2 項の規定に基づき会長が議長をすることとなっておりますが、本日は渡辺会長がご欠席のため、規則第 3 条第 4 項に基づき、宮田副会長に進行をしていただきます。 宮田副会長、よろしくお願いします。
副会長	それでは、本日の会議の署名について私から指名ということでございますので、2 号委員の江畑委員と 3 号委員の紀藤委員にご協力をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしくお願いいたします。 それでは、次第に沿って協議事項に入ります。事務局より、15 時 30 分を会議の終了時間としたいということでございますので、よろしくお願いいたします。 それでは、協議事項 1「第 3 次みんなで進めるいぬやま健康プラン 21 最終案」について事務局より説明をお願いします。

事務局	【資料1 第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21(最終案)について説明】 【資料 1-1 パブリックコメントの実施結果と計画書の変更点について説明】
副会長	ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がありましたが、この最終案をもって市長に答申をいたしますが、よろしいでしょうか。 〈異議なし〉
課長	それでは、ここで答申へ移らせていただきます。宮田副会長より市長へ答申をお願いいたします。
副会長	それでは、読み上げます。答申書。令和5年3月22日に市長より諮問のあった「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21」について、本委員会において慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。 今後の計画推進にあたっては、本委員会での提言や思いを十分に踏まえ、この計画を市民と共有し、市民と行政との協働により、健康長寿のまちの実現に向けた取組を要望します。
課長	それでは、ここで原市長より、健康まちづくり推進委員会の皆さまにごあいさつをいただきたいと存じます。
市長	皆さま、改めましてこんにちは。推進委員の皆さまには、長きにわたり慎重審議、そして熱い議論を重ねていただきまして、今、宮田副会長から最終案を受け取ることができました。 これまで役所の会議も多かったと思います。でも、今日はこの健康館という場で、こうしてまとめた意見を私に手渡していただけたというのは、なんだか嬉しい思いがいたします。本当に心から感謝を申し上げます。 人生 100 歳時代なんて言われるようになりました。この計画の大きな内容の一つとして、やはり、いつまでも元気に、健康寿命を伸ばして、お医者さんもお見えになりますが、医療費はいらない、介護費を使わないよ、という元気な高齢者づくりをしようという思い、考えがこの計画に込められているのだと思っています。 犬山もまさに人生 100 歳時代を迎えていると思っています。数えの方を含めて、犬山に 100 歳以上の方がどれくらいお見えになるのか。確か 42 人か 44 人お見えになります。人口構成で見ると、犬山の人口構成の様子がわかるし課題もわかるので、ちょっと皆さまにお示しをしたいと思います。100 歳が 42 人か 44 人です。 そして、75 歳の集いというお祝いの会があります。昨年秋に開催をされましたが、75 歳の方がどれくらいお見えになるのか。1,200 人以上の方が 75 歳であります。成人式がありました、成人式を迎えた若者は 740 人程です。最後、生まれてくる赤ちゃん、直近のデータでいくと、犬山で誕生した赤ちゃんは 352 人です。これが犬山の

	人口構成であり、現状であります。 その中で、この計画は、小さいときからずっと、成人、そして高齢になるまで健康でいていただくための皆さまの思いがここに込められています。 子どもの頃には生活習慣づくりを徹底したり、また成人になれば生活習慣を改善するために、私たちはいろいろ考えていかなければなりません。 また、高齢者になれば介護を防ぐフレイル予防、この事業も様々ご指導いただきながら取り組んでいるところではありますが、市民の皆さまが年齢に関係なく、ライフステージに焦点を合わせた、この計画をつくってくださっています。 ですから、宮田副会長もおっしゃられました、国の方がウォーカブル、歩いて健康になるこれからの日本の社会づくりがあるのだと言われました。本当に歩きたくなる、出かけたくなる。そして、もっと言うなら、自然に健康になるまち犬山になっていくといいなと思っています。 今日お渡しいただいた第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21によって、皆さまのご提案の内容を市民の皆さまと共有しながら、犬山市民皆さまの健康づくりのために、いよいよ令和7年4月1日からスタートさせていただきますので、改めてすべての皆さまに心から感謝を申し上げながら、出来上がりで終わりではありません。大事なものはこれからであります。これからこの計画を形にする、実行していくのが私たちの役割であり、応援してきてくださった委員の皆さまと一緒に取り組んでいきたいことでもありますので、どうぞ引き続き、犬山の健康づくりのためにご尽力いただきますようお願いを申し上げます。 まさにSDGsで、誰1人取り残さないとありますが、私たち犬山のキャッチフレーズは「みんなが真ん中にいる」です。みんなが真ん中にいるこの犬山で、ずっと犬山の皆さまが住み続けたい、これから住みたいと思ってもらえる犬山づくりを、この健康づくりから考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。 どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。
課長	原市長、ありがとうございます。答申は以上となりますので、引き続き会議の進行を宮田副会長にお返しいたします。
副会長	続きまして、協議事項2「第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21 概要版」について事務局より説明願います。 【資料2 第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21(概要版)について説明】
副会長	ただ今事務局より説明のありました「概要版」に関しまして、何かご意見はありますでしょうか。それでは、策定部会の部会長を務めていただきました、保健所長であります古川委員、何か補足事項等ございましたらご説明をお願いしたいと思います。

委員	プランの概要版にございますように、こちらの計画は非常に広い範囲にわたって網羅をしています。こちらにつきましては、非常にいろいろなところに目が届いている計画だと思っておりますので、こちらをしっかりと取り組んでいけば、最終的な目標である、生涯を通じて誰もが健康でいられるまち犬山という形で進めていけるのではないかと考えております。簡単ではございますが、以上でございます。
副会長	では事務局の方、この概要版に沿って、ということでしょうか。それでは、次に進めさせていただきます。続きまして、協議事項3「今後の第3次計画の推進」につきまして、事務局より説明願います。
事務局	【資料3 第3次計画の今後の取組みについて説明】
副会長	ありがとうございました。たいへん細かな取組についてお話がありましたが、このことについて、ご意見や新しい提案がありましたらお願いいたします。 先ほど申し上げましたように、各職種のプロの方ばかりの集まりでございますから、いろいろな思いはあると思いますので、遠慮なくここで提言していただいて、犬山市の住みよいまちの発展のためによろしくをお願いいたします。時間のご都合でございますので、私の方からお1人ご指名をしたいと思っております。 先ほど私も申し上げましたように、これからの児童生徒は非常に大事なこと、担い手になります。子どもの健康、特に学童期の健康は、ある意味においては大事じゃないかなと考えておりますので、養護教諭を長く務めておられます勝又委員から、児童生徒の現状についてお話を、手短で申し訳ないですが、よろしくをお願いいたします。
委員	第3次計画に、次世代を担う子どもということで、本当に今、自分の目の前にいる子どもたちを健康にしていけることが自分の使命だと思っております。 ただ、やはり、自分の目の前にいる子どもたちの様子を見ていますと、コロナのせいにはいけないとは思いますが、やはり、幼児期にコロナ禍だった子たちが、今小学校高学年、それから中学生になってきておりまして、その時期に人とちゃんと関わっていなかったということで、その影響をかなり受けているということは感じます。 ですので、今の子どもたちの心の面のことや、それ以外にも、子どもたちを取り巻くいろいろな健康課題があります。性や命のこと、スクリーンタイムが増えていること、運動についても2極化しているというような、いろいろなことがありますから、果たして本当にどこから取りかかっているのかといつも悩んでいるところです。 ただ、今日のお話にもありましたように、運動に関しては、先日、自分が研修会に参加したときに聞いた話ですが、あるスクールバスを利用している学校が、子どもたちの運動を確保するために、学校までバスが行くのではなくて、500m手前で子どもたちを降ろして、500mは歩かせるということをされているというお話を聞きました。やはり日常、積み重ねることが子どもの健康にとってすごく効果があるというお話を聞いて、なるほど、と思いました。

副会長	今、子どもたちの登下校も、保護者の方の送り迎えが結構多くて、そういったところでも、少し意識を変えて、日常生活の中に少し取り入れるだけでも、子どもたちの健康って変わってくるんだろうなと強く思いました。 貴重なご意見ありがとうございます。今、委員からお話でしたが、このことについてご質問ございませんか。市長、どうですか。大変いいお話をしていただきましたが。ご意見がございましたら。
市長	勝又委員もおっしゃっていただいたように、スポーツする子と、しない子の 2 極化が本当に激しくなっていると思っています。ですから、スポーツをする楽しみだけではなくて、スポーツを見ることも楽しみだし、スポーツを伝えることも子どもたちがスポーツにかかわっていくことだと思っているので、スポーツのかかわり方のあり方を考えていくことも必要だと思っているところです。ですから、いろいろなスポーツのかかわり方を考えていきたいと思っています。 ちなみに、毎年スポーツ少年団の体験会があるのですが、非常に多くの子どもたちが来てくれます。 話が逸れてしまって申し訳ないですが、子どもたちに人気のスポーツの種目も毎年変わってきます。1 年前はバスケ、バドミントン、サッカーがベスト 3 の人気種目でした。じゃあ今年はどう変わったかという、サッカー、野球、バスケに変わりました。大谷くんの影響があるのかもしれませんが、スポーツのかかわり方もいろいろ考えていきたいと思っていますし、今、私が教育委員会の皆さまと議論する総合教育会議というものがあります。その総合教育会議でもスポーツについて取り上げていきたいと思っていますので、そうした場を通じて、子どもたちの健康づくりも一緒になって考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。
副会長	貴重なご意見ありがとうございます。もう一方、小児科の専門医の榊原委員、ご父兄と一緒に子どもさんを見ておられますけれども、市長や勝又委員のお話を受けて、専門医のお立場で何かありますでしょうか。
委員	特別新しいことはないですが、今までたくさんの施策をつくっていただいて、非常にありがたいと思います。もっと広く言いますと、子どもたちが健康というのは、やはり元気であることが 1 番で、元気であるというのは、よく言うウェルビーイング(Well-being)で、身体的にも精神的にも、そして社会的にも。体だけではなくて、今、精神的に子どもたちにストレスが溜まっているとよく言われます。そのために命をなくされる方が、全体としては自殺が少なくなっているが、子どもだけが増えているという現状もその一つだと思いますし、不登校が増えているというのもそうだと思います。 もう一つ、社会的にというのは、さっき市長が言われたように、外で遊ぶ、また環境が子どもたちにとって非常に恵まれているかどうかということも非常に大事ではな

	いかと思います。それ全てが整って、子どもたちが健康であると言えるのではないかと思います。単なる生活習慣病だけではなくて、置かれている場所が、子どもたちが非常にいきいきと過ごしていけるような状況、環境をつくるのが健康に結びついていくのではないかと考えています。 そのために、私も小児科ですので、何かお手伝いできればとはいつも思っておりますが、なかなかできることが少なく、子どもたちのためにということでこれからも考えていきたいと思っております。 具体的にはないですが、もう少し子どもたちが毎日、1 日 1 日が楽しく過ごせるようなもの、何か規制を設けるのではなくて、遊ぶ場所もそうですが、気兼ねなくしっかりと遊べ、周りをあまりに気にし過ぎないでいいような、生き生きと生活できる環境づくりが大切ではないかと思っております。
副会長	どうもありがとうございました。いよいよこれから第 3 次計画がスタートいたします。今日皆さまから出していただいたご提言も踏まえながら、共有しながら進めていきたい、協議を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 時間の都合もございますので、次に移らせていただきたいと思っております。 その他の項目に入りますが、犬山中央病院の理事長先生が委員としてご出席しておりますけれども、犬山中央病院というのは社会医療法人ですか。
委員	はい。
副会長	社会医療法人となると、公益性の高い医療を提供することが主な目的ではないかと思っておりますが、そういう意味では犬山を代表する中核病院の一つだと私も認識しております。新しく作り直しをする、整備に入るのだということで、そろそろそのスタートに入ったということを聞いておりますけれども、どんな状況か進捗状況をお尋ねしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
委員	【総合犬山中央病院の建て替えについての報告】
副会長	ありがとうございました。犬山中央病院についてご要望・ご質問がございましたら承りますので、皆さまいかがでございますか。
委員	今の説明で中身やいろいろな特徴については理解できました。ありがとうございます。工事の方はいつ頃完成の予定でしょうか。
委員	工程のスケジュール表が抜けておりました。失礼しました。2027 年に本館自体は完成を目標に動いております。物価もかなりの高騰しておりますので、なかなか苦労しておりますけれども、なんとか 6 月には本館自体の工事が開始できるように進めているところです。

委員	私からは、質問１点と要望１点よろしいですか。まず質問ですが、私もあまり詳しくないですが、最近、医療分野においては、先ほど ICT を使って高機能、高効率を目指すというようなことがありましたが、例えば AI の活用などについては、今回の建て替えに関して、今後の活用は考えられていますでしょうか。
委員	すでに生成 AI は、今年入れていく予定で、これがしっかり根付けば、今度の新館では待たせない外来の受付、あるいは病棟でも AI を活用して、今は人が少ないですから、そこを担えるものをどんどん導入して行って、使用していきたいと今動いております。
委員	ありがとうございました。もう１点ですが、ご存知のように、犬山中央病院はコミュニティバスのハブ停留所のようになっていて、多くの路線が犬山中央病院を中心として動いていますので、新しい外観ができて、コミュニティバスが当然乗り入れをします。 市の方にも、こういった乗り入れはよく病院とご相談、お話をさせていただきたい。今現状、屋根はありますが、利用者が外で待っている状況で、高齢者とか体の不自由の方は大変だと私は思っていますので、そういった面で、そういった方に配慮されるよう、市と病院との話し合いの中で決めていくと思いますので、ぜひ進めていただきたいという要望を申し上げます。よろしくお願いします。
副会長	犬山中央病院は二次救急医療までで、三次は考えてみえないわけですね。
委員	はい。三次まではちょっと難しいので、二次までです。
副会長	二次の中身はどの程度のことでしょうか。
委員	二次の中でもやはりレベルはいろいろあると思いますが、今、どちらかという、外科系の患者様が非常に多い。その外科を中心として、内科はどちらかというサポート的になると思うのですが、二次医療の、重症度でもかなり三次救急に近い重症の患者さんはちょっと難しいと思うのですが、どちらかという、江南厚生などの三次救急のレベルから二次救急のレベルだった患者さんをご紹介いただくとか、あるいはこの地域でそのレベルの患者さんを診させていただくとなっております。
副会長	医師会の方、どうですか。病診連携、非常に大切かと思っておりますけれど。
委員	先生ありがとうございました。説明すごくわかりやすかったです。日頃本当にお世話になっておりますので、それも併せてお礼申し上げます。 医師会といたしましては、今、犬山支部の中の中核病院と把握しておりますので、当

	然、病院が新しくなって、いろいろな患者様をお受けしていただけるということは非常にありがたいと思っております。 今、副会長からもお話があったように、二次救急でも非常にお世話になっております。ただ、我々、医師会犬山支部といたしましては、できれば、犬山を代表する市の中核病院だと思っておりますので、非常に難しいと思いますが、二次だけではなく、三次救急までできるような体制ができると、ありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。
副会長	歯科はどうなのでしょう。
委員	歯科は今、杉浦先生にいろいろお世話になっているのですが、常設はなかなか余裕がなく、近隣の開業医の先生方にお助けをいただいてやっていきたいと思っております。
副会長	いずれにしても、市民に親しまれて、我々医師会と人間関係を、信頼関係を構築するような形で進めていっていただきたいと思っています。できるだけオープンでよろしくお願いします。 その他、そろそろ時間が参りましたのでお開きにしようかと思っております。事務局にマイクを返させていただきます。よろしくお願いします。
課長	宮田副会長、ありがとうございました。第3次みんなで進めるいぬやま健康プラン21の計画の策定におきましては、昨年度より、本委員会で委員の皆さまからの貴重なご意見やアイデアをいただきながら協議を重ねてすることができました。それが今回、計画書という形になり、先ほど市長に答申することができました。この後、この計画書が製本され、冊子になりましたら、また送付させていただきますので、よろしくお願いします。 今回、完成しましたこの計画の取組によって、市民の健康が促進され、健康寿命の延伸につながっていきますよう、今後ともご協力のほどよろしくお願いします。それでは、最後に健康福祉部長よりごあいさつ申し上げます。
健康福祉部長	皆さま、長時間ありがとうございました。2年間にわたり計画書をまとめていただき、本当にありがとうございます。皆さまの任期は来年の3月ですから、もう1年になります。今年度においては、これで会議は終了になってきます。今後、こちらの方で議論いただくのは、この計画の進捗状況などが話題になってくるのかと思っています。 それと、今日ご利用いただいているこの健康館の利活用も今後考えていかなければいけないと思っています。 何かというと、メインはこのお風呂の方です。これが老朽化してきて、このまま継続すると、かなり大きな改修等をしなければいけない。そうすると、このままお風呂でいいのかどうかということを含めて、今、内部で検討をしているところであります。

課長	今後こうしていった方がいいんじゃないだろうかというような案が固まってくれば、また改めてこちらの方で諮らして、皆さまのご意見を聞きながら、計画を固めていきたいと思っております。 まだまだ、皆さまにお示しできるようなところまでは整理できておりませんが、できたら来年度にはそんなお話がこちらの方でできたら、できるような運びになればと考えておりますので、またよろしくお願いいたします。 以上をもちまして、令和 6 年度第 3 回犬山市健康まちづくり推進委員会を終了いたします。 お帰りの際には、交通事故等には十分にご注意いただき、お帰りいただきたいと思います。本日はありがとうございます。 以上
----	---